

X線室漏洩放射線量測定結果報告書 (例)

各自の
医院名
所在地

測定場所	名称	鹿行 歯科医院		
	住所	神栖市太田 〇番地		
	TEL	0479 (46) 0000		
	管理者	鹿行 一郎		
エックス線装置	制作者名	(株) ヨシダ		
	形式名称	D-60-S ^(D) / 151-5 SE ^(P)		
	用途	歯科診療用X線装置		
	製造年月	1989年6月 / 1989年6月		
	製造番号	ZB-004 / OPS-8210		
		(短時間)	60 Kv	10 mA
	(短時間)	90 Kv	10 mA	
測定年月日	平成 19年6月10日(日) 9時00分~9時30分			
天気	晴	気温	23 °C	
湿度	40 %	気圧	1008 hpa	
測定器の種類	電離箱式サーベイメーター			
測定器の名称	NHA10001			
製造日	平成 11年 12月			
校正日	平成 19年 6月			
被写体	ファントム			
測定者氏名	鹿行 一郎			
測定立合者	神栖 二郎	職名	歯科医師	
本報告書の有効期間	平成 年 月 日迄(測定日から半年以内)			

デンタル
パリア(P)
本体の
プレートに
記載

各自
6ヶ月前
までの
日付

各自の
氏名
立合者
署名

撮影条件	(D) 60 Kv	10 mA	0.99 s
	(P) 90 Kv	10 mA	20 s
レンジ	μSv/h · μSv		
測定点	測定点	測定点	測定点
①	0.0 / 0.0	⑪	0.0 / 0.0
②	0.0 / 0.0	⑫	
③	0.0 / 0.0	⑬	
④	0.0 / 0.0	⑭	
⑤	0.0 / 0.0	⑮	
⑥	0.0 / 0.0	⑯	
⑦	0.0 / 0.0	⑰	
⑧	0.0 / 0.0	⑱	
⑨	0.0 / 0.0	⑲	
⑩	0.0 / 0.0	⑳	
A点			
B点			
C点			
バックグラウンド	1 μSv / h		
曝射回数	回		

A・B・C点は透視撮影の時、管理区域内(撮影室の中)に補助者がいると想定した場合、最も被爆すると思われる位置で測定した値を記入すること。

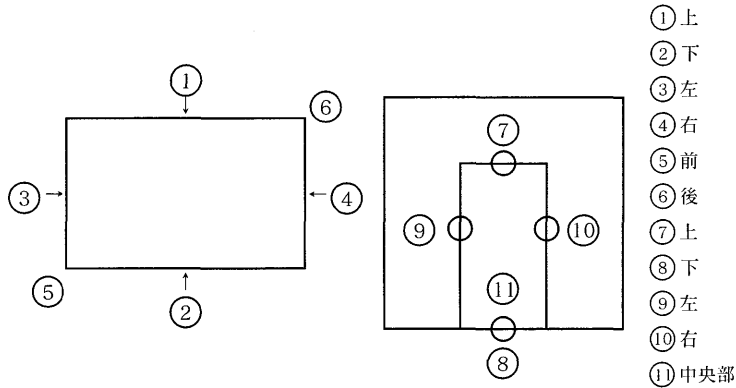
X線室漏洩放射線量測定結果報告書

測定場所	名称				
	住所				
	TEL				
	管理者				
エックス線装置	制作者名				
	形式名称				
	用途	歯科診療用X線装置			
	製造年月				
		(短時間)	Kv	mA	
		(短時間)	Kv	mA	
測定年月日	平成 年 月 日() 時 分～ 時 分				
天気		気温	℃		
湿度	%	気圧	hpa		
測定器の種類	電離箱式サーベイメーター				
測定器の名称	NHA10001				
製造日	平成 11年 12月				
校正日	平成 年 月				
被写体	ファントム				
測定者氏名					
測定立合者		職名			
本報告書の有効期間	平成 年 月 日迄(測定日から半年以内)				

撮影条件	Kv mA s		
レンジ	μsV/h · μsV		
測定点	測定点	測定点	測定点
①		⑪	
②		⑫	
③		⑬	
④		⑭	
⑤		⑮	
⑥		⑯	
⑦		⑰	
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	
A点			
B点			
C点			
バックグラウンド	1 μsV / h		
曝射回数	回		

A・B・C点は透視撮影の時、管理区域内(撮影室の中)に補助者がいると想定した場合、最も被爆すると思われる位置で測定した値を記入すること。

測定点=X線線の上下、左右、前後の壁の中央位置



X線室の扉の隙間=上下、左右、鉛入りガラス板

X線室漏洩放射線量測定法マニュアル

- ア) 測定する前に、X線室の中の人間がすわる所にポリタンクの透明な容器をおき中に水を入れておく。(人間の内部と同じような構造にするため)
- イ) 照射方向=ポリタンクに向かって照射する。照射する位置はどこからでもよい。
- ウ) 照射した時の測定点は、立体図・平面図を添えてその図を書き込む。
- エ) 原則として11ヶ所となり、測定場所は同じ場所になるように
- オ) 測定できない場所は省略しても差し支えない。